

家の お手入れ

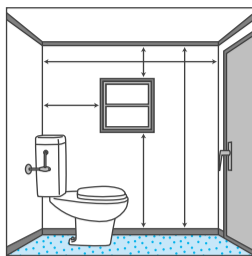


壁のリフォーム 1 壁紙を貼る

現在、壁紙を貼っている場合はもちろん、プラスター壁などの場合も、下地処理をすれば新しい壁紙を貼ることができます。ここではトイレに貼る場合のポイントをご紹介します。詳しくは『No.31 壁紙の貼り方』を参照してください。

1 壁のサイズを測り、壁紙を裁断する

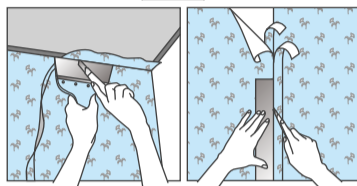
ペーパーホルダーや水洗タンクのフタなど、はずせるものはできるだけ取りはずしたあと、各部分のサイズを測り、継ぎ目の位置を決めるなど、貼る計画を立てる。壁紙は上下それぞれに3cmの余分を加えて切る。柄のある壁紙の場合は柄合わせをするための余分も必要。



2 壁紙を貼る

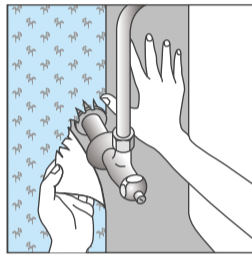
糸を吊るして垂直を確認して、まっすぐに壁紙を貼り、なでバケで空気を追い出しながら貼る。

上下の余分などはカッティング定規を当てて切り取る。継ぎ目部分は重ねて貼ってから、中央をカッターで切り、壁紙の端を取って貼り直すようにする。



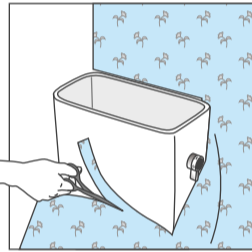
3 パイプの取り付け部分

丸いカバーをずらしたのち、目立たない方向から壁紙に切れ目を入れてパイプの周囲に貼る。パイプのまわりは、あとカバーで隠せる程度に細かく切れ目を入れながらピッタリ貼り、余分は切り取る。カバーを元通り戻せば完了。



4 タンク部分の貼り方

切り込みを入れながら周囲を貼る。余分は切り取って、タンクの裏に押し込むようにしながら貼っていきとよい。タンクのフタの部分は、フタで隠れるところまで貼るようにする。



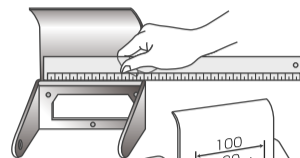
トイレの リフォーム

One Point Advice

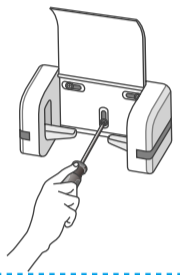
ペーパーホルダーの交換

トイレのリフォームのついでにペーパーホルダーも交換してみませんか。ワンタッチペーパーホルダーに変えれば、トイレトペーパーの交換もたいへんスムーズになります。

1. 現在、使用中のペーパーホルダーと同じ位置に取り付けたい場合は、ネジの位置を測り、市販のワンタッチペーパーホルダーのネジ穴の位置と合うかどうか確かめること。



2. ネジを緩めて使用中のペーパーホルダーをはずし、ワンタッチペーパーホルダーを取り付ける位置を決めたら、ワンタッチペーパーホルダーの裏面についている両面テープの表の紙をはがして接着したあと、ネジでとめる。このとき1本ずつ最後まで締めないで、3本をある程度締めて、位置を確認してからしっかり締めるのがコツ。



※壁がネジのきく木製で、塗装あるいは壁紙を貼ってリフォームする場合は、古いホルダーをはずして穴を埋めてからリフォームすれば、ネジの位置を気にせず好きな場所に取り付けることもできます。

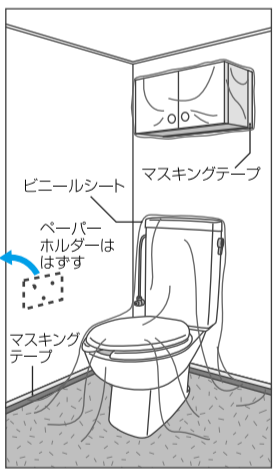
壁のリフォーム 2 塗装する

塗装壁、プラスター壁はもちろん、ビニール壁紙の壁も「ビニール壁紙に塗れる」という表示がある塗料なら塗ることができます。『No.35 塗装の基礎知識』を合わせてご覧のうえ、チャレンジしてみてください。

1 ペンキがつかない部分はカバーする

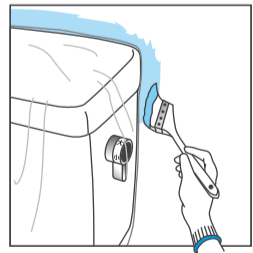
壁の汚れを落とし、床や便器、パイプなど塗料がつかない部分を、マスキングテープやビニールシート、新聞紙などでカバーする。ペーパーホルダーやコンセントのプレートなど、ネジ止めされている備品はドライバーではずしておいた方が作業がラク。

また、壁にヒビ割れや穴、壁紙のめくれやはがれがある場合は、『No.20 壁の補修』を参考に直してから作業すること。



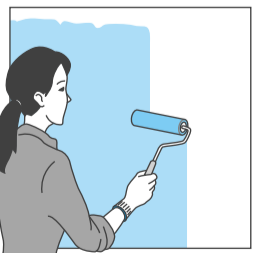
2 細かな箇所をスジカイバケで塗る

塗料をムラがなくなるまで割り箸などで混ぜてなら、ムダ毛を除いたスジカイバケを使ってコーナーや収納ボックス、水洗タンク、給水パイプのまわりなど、幅が狭くて塗りにくい場所を塗っていく。



3 ローラーバケで壁全体を塗る

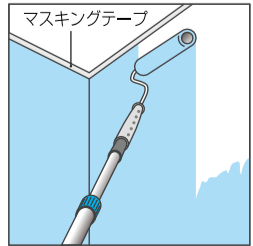
塗料を受け皿に移し、ローラーを何回もこがしてペンキが平均につくようにならしてから、壁の広い部分を塗っていく。あまり早く転がすと塗料がはねるので、ゆっくり転がすように。



4 継ぎ柄をして高いところを塗る

天井に近い高い箇所はローラーバケに別売りの継ぎ柄をつけるのとラクに塗れる。天井を塗る場合も、これを使うと便利。

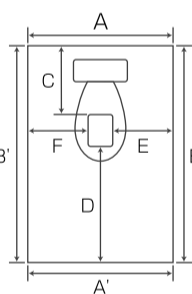
全体を塗り終えたら、塗り残しや模様が見える部分がないかチェックし、塗り足りない箇所があったら二度塗りをする。その後、ペンキが乾く前にマスキングテープをはがし、カバーに使ったビニールシートや新聞紙をはがす。ドライバーではずした備品は、完全に乾いてから取り付けるようにする。



床面のリフォーム クッションフロアを敷き込む

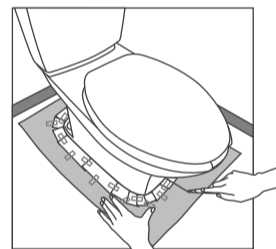
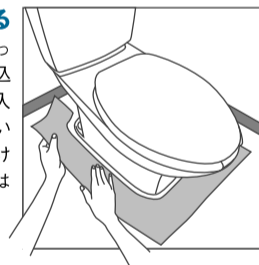
1 床のサイズを測る

建物が歪んでいる場合もあるので周囲4辺を測ったあと、壁から便器までの間を正確に測って便器の位置を確認する。



2 便器の型紙をとる

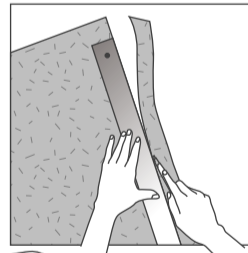
包装紙くらいのしっかりした紙に切り込みを入れ、便器が入るくらいのだいたいの大きさの穴を開けて便器のまわりにはめ込む。



便器と型紙のすき間に小さく切った紙をセロテープでとめて型を取る。この作業をできるだけいいに行うのが、型をきれいに取るコツ。型取りが終わったら、紙に切れ目を入れて型紙をはずす。

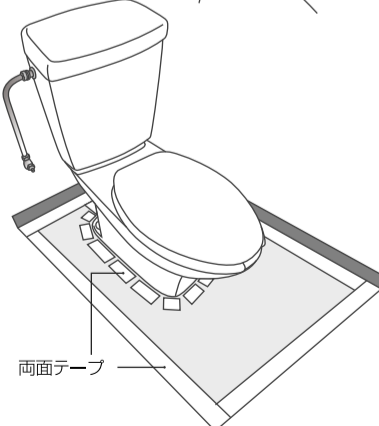
3 クッションフロアを裁断する

クッションフロアを表にして最初に測った4辺のサイズよりも1程度、大きく切る。



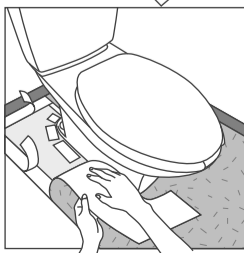
5 床に両面テープを貼る

床の汚れを落とし、壁側の周囲と便器の後ろ側の継ぎ目になる部分にクッションフロア用の両面テープを貼る。便器のまわりは適当な大きさに切って貼るとよい。



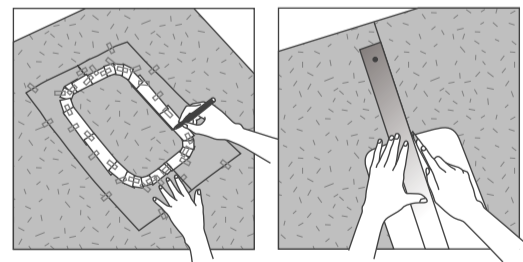
6 床材を敷き込む

両面テープの表面の紙はそのままにしてクッションフロアを敷き込み、サイズが合っているかどうか確認する。OKなら、両面テープの表面の紙を少しづつはがしながら、クッションフロアを固定していく。



4 便器の型を当てて切り抜く

裁断したクッションフロアの端から、C、F、E、Dの距離を測り、それに合わせて便器の型を取った型紙を置いてズレないようにテープで止める。水性ペンで便器の型を移してから型紙をはずし、カッターでいいに切り抜く。そのあと、便器の後ろになる側に定規を当てて、直線に切り込みを入れる。



7 充てん剤でコーティングする

水がしみこまないように、便器のまわりと後ろの継ぎ目をシリコン系充てん剤で埋める。このとき、埋める部分の両側にマスキングテープを貼ってから充てん剤を絞り出し、付属のヘラか指に水をつけて押しつけるようにならしてから、マスキングテープをはがすときれいに埋めることができる。

